

アクチュアリー試験対策 生保1 想定小問 (平成24年用)

過去3年以内に出題された問題等、出題されないと想定される問題は省略。

1 営業保険料

- 1.1 営業保険料決定の際に考慮すべき点について述べよ。(P2)
- 1.2 生保標準生命表2007(年金開始後用)の作成方法について述べよ。(P9)
- 1.3 養老保険および定期保険の予定利率設定にあたっての考え方を述べよ。(P12)
- 1.4 新契約費、維持費、集金費のそれぞれについて簡潔に述べよ。(P16)
- 1.5 付加保険料に対する監督について述べよ。(P17)
- 1.6 付加保険料方式に対する考え方について述べよ。(P18)
- 1.7 保険料について、監督指針で求められている要件を述べよ。(監督指針IV-5-1)

2 解約および解約返戻金

- 2.1 契約者価額としての保険料積立金と、責任準備金の違いについて述べよ。(P5)
- 2.2 解約返戻金に関連する法令(保険業法、保険法等)について述べよ。(P8,48)
- 2.3 解約控除の理由について述べよ。(P11)
- 2.4 市場価格調整型について、その機能、計算式、メリットを述べよ。(P24)
- 2.5 解約益リスクおよび継続リスクについて述べよ。(P28)
- 2.6 流動性リスク管理について、商品設計、ALM、収益検証モデルの面から述べよ。(P36)
- 2.7 解約返戻金に関する生命保険業界の意見について述べよ。(P40)

3 アセットシェア

- 3.1 アセットシェアの定義について述べよ。(P1)
- 3.2 アセットシェア計算の目的について述べよ。(P2)
- 3.3 アセットシェアが平成8年改正の保険業法等で規定された背景について述べよ。(P4)
- 3.4 アセットシェア計算における契約群団方式と代表契約方式について述べよ。(P5)
- 3.5 イクエーション方式およびアキュムレーション方式の概要について述べよ。(P21)
- 3.6 利益目標を考慮しない場合の安全割増の役割について述べよ。(P27)

4 新商品

- 4.1 ユニバーサル保険のローディングの体系について述べよ。(P5)
- 4.2 ユニバーサル保険の解約控除の体系について述べよ。(P6)
- 4.3 カレントアサンプション終身保険における低保険料型と高保険料型について述べよ。(P12)
- 4.4 株価指数連動型年金の利率の連動方式について述べよ。(P14)
- 4.5 重大疾病保障の契約形態について、「主契約への上乗せ」や「単品」という方式に対し、「死亡保険金の一部もしくは全額の前払い」という方式が持つメリットを述べよ。(P21)
- 4.6 長期医療介護保障の保険料計算で使用する重要な基礎率について述べよ。(P28)
- 4.7 優良体保険において優良体の判定に用いられるリスクファクターについて述べよ。(P41)

5 変額年金保険

- 5.1 最低生存給付保障（GMLB）について分類し、それぞれの特徴を述べよ。(P3)
- 5.2 最低保証の形態のうち「ラチェット型」および「ロックアウト型」について述べよ。(P3)
- 5.3 最低保証の金融リスクについて述べよ。(P5)
- 5.4 最低保証の保険リスクについて述べよ。(P6)
- 5.5 最低保証費用率の設定にあたっての考え方について述べよ。(P21)

6 団体生命保険

- 6.1 グレッグが挙げた団体生命保険の特質について述べよ。(P1)
- 6.2 団体生命保険における危険選択の目的および留意点について述べよ。(P3)
- 6.3 団体による選択において考慮すべきこと（グレッグの法則）について述べよ。(P3)
- 6.4 団体生命保険の予定死亡率、予定利率、予定事業費の定め方について述べよ。(P16)
- 6.5 団体生命保険における平均保険料率について述べよ。(P16)
- 6.6 団体生命保険の優良体割引における留意事項について述べよ。(P20)

7 医療保険

- 7.1 保険業法における、生命保険業免許で引き受けることのできる保険の範囲を述べよ。(P1)
- 7.2 医療保険における、不担保期間、待期間、給付限度について述べよ。(P7)
- 7.3 医療保険の予定発生率の補正について、監督指針で求められている事項を述べよ。(P16)
- 7.4 予定解約率について、監督指針で求められている事項について述べよ。(P17)
- 7.5 医療保険の予定発生率および予定平均給付額決定の留意点について述べよ。(P18)
- 7.6 保険業法施行規則における、基礎率変更権の定義を述べよ。(P31)

8 再保険

- 8.1 再保険の分類である、比例式再保険、非比例式再保険について述べよ。(P7)
- 8.2 再保険の分類である、自動再保険、任意再保険について述べよ。(P7)
- 8.3 再保険の分類である、超過額方式、比例方式について述べよ。(P8)
- 8.4 危険保険料式再保険について述べよ。(P16)
- 8.5 Cat Cover の、出再範囲、事由、自己保有額、填補限度額について述べよ。(P25)
- 8.6 Stop Loss Cover の、出再範囲、事由、自己保有額・填補限度額について述べよ。(P28)
- 8.7 キャプティブについて述べよ。(P30)

10 商品毎収益検証

- 10.1 商品毎収益検証の必要性について述べよ。(P2)
- 10.2 商品毎収益検証の目的について述べよ。(P4)
- 10.3 死亡率のシナリオを設定する際に配慮すべき事項を述べよ。(P13)
- 10.4 解約率の特性について述べよ。(P35)
- 10.5 新契約費と維持費の分類について述べよ。(P38)
- 10.6 事業費を商品 1 件ごとに割り当てる際の配賦単位について述べよ。(P39)
- 10.7 事業費のシナリオに経験値を利用できない場合の対応について述べよ。(P42)
- 10.8 事業費のシナリオにおいて、経験値を利用できない場合や規模の経済を反映する場合の注意点について述べよ。(P43)
- 10.9 プロフィットマージン、投資回収年度、内部収益率について述べよ。(P48)
- 10.10 モデルの選定に関する論点を述べよ。(P52)
- 10.11 利差益を、純保険料、保険料基礎率・責任準備金基礎率による期初の保険料積立金、実際・予定の利回りから算出する場合について、利源分析の計算式を述べよ。(P58)
- 10.12 保険年度単位、事業年度単位、月単位それぞれのモデルの特徴を述べよ。(P65,70,78)
- 10.13 会社モデルの応用例および、会社モデルに求められる条件について述べよ。(P83)
- 10.14 モデルポイントのヴァリデーシヨンの意味および方法について述べよ。(P92~94)